



魅力的な
世界文化遺産

バンベルク

文化の町

バロックの町

ビールの町

芸術の町



魅力的な 世界文化遺産



▼ 活気ある歴史：タイムスリップでどうぞ！



▼ 旧市庁舎は町の
象徴で、レーゲニッ
ツ川の上に建てられ
ています。



■ 皇帝ハインリッヒII世は1007年にバンベルク司教区を設立し、町はドイツ神聖ローマ帝国の中心的存在になりました。歴史と文化にあふれた魅力的な、細部に至るまで正真正銘の、生き生きと奔放な、ロマンチックで愛らしい、印象的で気品ある町を体験してください！

1993年から世界文化遺産

バンベルクはヨーロッパの中でも、大きな旧市街の中心部が破壊されず残った町の一つです。10世紀にわたるきわめて多数の個々の記念物のあるバンベルクは、中世の特徴的な構造が目立つ理想的な町です。世界遺産の地域は3つの歴史的集落地を含んでいます。堂々とした建築物のある司教の丘陵地区、商業と手工業の脈動する中心の市民的な中州地区、野菜作りとブドウ畑農耕者の生き生きとした伝統的な菜園地区です。

ユニークな総合芸術作品

旧市街の中心部では至るところが建築の歴史で、バンベルクは建築様式のお手本ともいえるでしょう。ロマネスク風・ゴシック風・ルネサンス風・バロック風・近代の様式が町の特徴です。多数の狭い込み入った路地と、二つに分かれるレーグニッツ川の流れには、独特な雰囲気があります。

活気ある文化の町

皇帝と司教の古い町は、現在もますます活気があります。バンベルクは経済成長の拠点であり、新しい大学の町、豊かなカルチャーライフと活発なアートライフがあります。ビールやその他のグルメのための名物料理が豊富で、バンベルク近郊の素晴らしい自然のハイライトとともに、世界文化遺産都市の市民には、非常に高いライフ・クオリティもあります。



世界文化遺産の体験

■ バンベルクの興味深い歴史を体験し、世界文化遺産都市の魅力をご見聞ください。

ヒント：携帯情報端末(PDA)と「Bamberg itour Guide」で自力で発見ツアー

レンタルと情報は観光局にて

 www.bamberg.info

そしてバンベルク・ツアーの オンライン Bamberg itour Guideのアプリはitunes.appleでどうぞ

バンベルクの主要な歴史年譜

1007年

皇帝ハインリッヒII世がバンベルク司教区を設立。バンベルクはドイツ神聖ローマ帝国の中心的存在となる



1047年

法王クレメンズII世が亡くなり、バンベルク大聖堂に埋葬(アルプスの北側にある唯一の法王の墓)



1237年

1185年の火災後修復された大聖堂の聖別。現在もなお、バンベルク騎士像のある後期ロマネスク・初期ゴシック建築は、ドイツ建築の最高峰



丘陵地区

7つの丘の上に建立されたフランケン地方のローマ

4

皇帝大聖堂の堂々とした高い塔は、町の特徴的なシルエット。



■ 込み入った広場、狭い路地、バロック風建物の正面や中世的な雰囲気は、バンベルクの旧市街をユニークなものにしています。

7つの丘

7つの丘の上の町バンベルクは、その地形により「フランケンのローマ」という別名がついています。大聖堂近辺は11世紀から1802年まで、バンベルク司教区本部の信仰的・現世的な権力の中心で、大聖堂、バロック風新宮殿、旧宮殿などの特徴ある建造物があります。丘陵地域のすべてを凌駕するアルテンブルクと、天にそそり立つ教会の塔が、バンベルクの典型的な景観をかもしだしています。

丘陵地区

少し高い丘陵地域には多くの教会施設が目立っていますが、大聖堂の下の地域は手工業、ビール醸造所、一般市民の住居や、一部は立派な宮殿風な建築物もあります。

皇帝大聖堂

4つの塔のある教会建築は、ドイツの後期ロマネスク・初期ゴシック風の重要な建築のひとつです。ここでは法王クレメンスII世(1047年没)が法王として唯一、アルプスより北側に埋葬されました。最初の大聖堂は1012年に聖別され、皇帝ハインリッヒII世の寄進によるものでした。教会内の偉大な芸術作品には、皇帝のハインリッヒII世とクニグンデ妃の墓碑、ファイト・シュトースの祭壇、バンベルク騎士像がありますが、騎士と作者の身元は今日なお不明です。大聖堂のすぐ脇に、比類なき宝物が保存されている司教区宝物館があります。

旧宮殿、新宮殿、バラ園

往時の皇帝と司教の居城の中心部は、旧宮殿と「うるわしの門」と木組みの建物に囲まれたロマンチックな中庭です。旧宮殿のすぐ向かい側に、17世紀に建てられた豪華な部屋と非常にユニークな皇帝の広間のある新宮殿があります。レオンハルト・ディーツェンホーファーが建てた宮殿の中庭には、バルタザール・ノイマンの草案で設計されたバラ園が広がっています。ここから聖ミハエル修道院の素晴らしい眺めと、バンベルク旧市街の屋根並みとバンベルク郊外のパノラマが見渡せます。

ツーリストバス910番でバンベルク発見

市バス910番は、旧市庁舎から大聖堂広場を通過してミハエルスベルクまで走り、世界文化遺産都市を横切っています。チケットは観光局、またはBAMBERGcardのサービスの一部としてお求めできます。



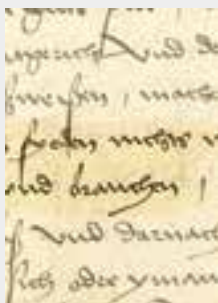
バンベルクの主要な歴史年譜

1386年-1387年



バンベルクの最初の市庁舎(現在の旧市庁舎)が、レーグニッツ川の入口の中州に建立

1489年



バンベルクのビール純粋令の公布。有名なバイエルンのビール純粋令よりも27年前のこと

1595年-1631年



多数の死者を出したバンベルク司教区本部の魔女狩りの時代は、領地司教ヨハン・ゲオルクII世とフックス・フォン・ドルンハイムの死後に終末

世界文化遺産

中州地区

▼ 活気ある中心地

— 世界文化遺産都市でショッピングの楽しみ





■ 中州地区は「市民の町」として発展し、現在はバンベルクの活気ある中心地です。

橋の上の市庁舎

旧市庁舎は珍しい建物です。伝説によるとバンベルクの司教は、市庁舎の建物に1mmたりとも土地を譲らなかったそうです。それでバンベルク市民達はレーグニッツ川の真ん中に杭を打ち込み、人口の中州を作り、その上に最初の市庁舎(今の旧市庁舎)を建てました。市庁舎の壁の芸術的なバロック風フレスコが、特に際立っています。現在この建物の中には立派なロココ風広間があり、またルートヴィヒ・コレクションが収蔵されています。

小さなベニス

元漁師の集落だったレーグニッツ川の左支流は、愛情をこめて「小さなベニス」と呼ばれています。多くの中世的な田舎風木組みの家並みが、レーグニッツ川の岸辺に並び、ロマンチックな全風景になっています。

脈動する生活

活気ある世界文化遺産都市を思う存分探索したり、ショッピングしたり、多くの喫茶店で一休みするのは楽しいことです。バンベルクのレストランには、板張りの風変わりな雰囲気のお店、学生好みの店、伝統的なフランケンの店、あるいは国際料理や高級料理店などがあります。昔から多数の有名人がバンベルクのレストランを好んでいました。例えばロマン派のマルチ・タレントE・T・A・ホフマンで、彼は1808年から1813年までバンベルクに住んで活躍していました。

中心街では特に歩行者天国で、大きなイベントや沢山の典型的な市場が開かれ、例外なく大好評です。



▶ 愛情を込めて描かれた旧市庁舎のバロック風フレスコ画部分。



ショッピングのヒント

■ 中州地区はまさにショッピングの楽園です。多彩なお店では、例えば精選された高級チョコレート、奇抜なアクセサリ、風変わりな洋服や家庭用品などが購入できます。

高価なものから手頃な値段の芸術品や骨董品も、大聖堂と旧市庁舎の間のバンベルクの骨董品地区でお求めになれます。夏の有名な芸術品・骨董品週間は、多くの訪問者をバンベルクに誘います。

▶ www.bamberg.info/einkaufen

▶ www.bamberger-antiquitaeten.de

バンベルクの主要な歴史年譜

1693年-1746年



領主司教ローター・フランツと、後にフリードリヒ・カール・フォン・シェーンボルンによるバンベルクのバロック風改装

1802年



バンベルク司教区本部はバイエルンに編入

1808年-1813年



E・T・A・ホフマン、ロマン派のマルチ・タレントがバンベルクで活躍

菜園地区

▼ 本来の特徴を維持する何百年も古い構造

▼ 興味深い町のツアーは「菜園ルート」で、ハイリヒゲラー通り展望台から素敵な一望。





■ 広々とした栽培地と典型的な野菜作りの家屋があるバンベルクは、世界遺産の中の都市設計でもユニークです。中世から絶え間なく、この土地は伝統的な野菜作りに使われていました。中世やバロック時代の古典的で豪華な建物から見渡せる所で、現在でも新鮮な野菜が栽培されています。この菜園地区がなかったら、バンベルクは世界文化遺産都市にならなかったでしょう！

キャベツ、大根などが、菜園地区の名産物です。カンゾウもまた栽培されはじめ、何百年もの伝統を受け継いでいます。

世界遺産の野菜作りたち

現在約20余りの野菜作り農家が、町の中の歴史的な菜園を経営しています。野菜はバンベルクの市場や、町のレストランの料理に出されます。農家の中庭で野菜を直売していることも、特別なふれあいです。ハイリヒグループ通りの「菜園ルート」の展望台から、今なお残る昔ながらの菜園分譲地の興味深い眺めが一望できます。

▶ 興味深い町のツアーは「菜園ルート」で、ハイリヒグループ通りの展望台から素敵な一望。

典型的な野菜作りの家屋

家屋は平屋造りで、高い切り妻屋根の小さな窓と木造の大きな扉があります。しかし菜園の家並みからだけでは、野菜作りの元々の家屋建築の秘密はわかりません。しかし扉を開いて奥を眺めると、在来種の野菜が植えられた中庭と菜園が見え、ここで珍しいバンベルクの特産品が何百年も栽培されているのがわかります。例えば「バンベルク・ヘルンラ」は、特にほくほくした味のグルメお薦めのジャガイモの種類です。バンベルク産のニンニクは特産野菜で、バンベルクのタマネギ、多くのハーブ、ちりめん



ヒント：野菜作りとブドウ畑農耕者博物館

■ 菜園地区の博物館にある素晴らしい宝を見逃さないください。在来種と外来種の菜園がある典型的な野菜作り農家は、1900年頃のバンベルクの野菜作りの生活へ誘い、地元の野菜、カンゾウ、ブドウ畑などの文化史的な関連をご覧ください。

🕒 5月初めから10月末まで、水曜・日曜日：11-17時

🎫 入場券は **BAMBERGcard** に含まれる

📍 **Mittelstraße 34, 96052 Bamberg**

👉 www.ghm-bamberg.info

バンベルクの主要な歴史年譜

1946年

バンベルク交響楽団の創立



1993年

バンベルク旧市街がユネスコの世界文化遺産都市に登録。バンベルク司教区創立千年祭。



2012年

バイエルン州ガーデンショーが、菜園地区とERBAパークを推進



■ バンベルクはビールの真のメトロポリスです。町中には今でもまだ9つのビール醸造所があり、約50種類のビールを醸造しています。バンベルク近郊では更に、60のビール醸造所が、約300の特産ビールを醸造しています。これは非常にユニークです。そのためバンベルクは世界

でもっともビール醸造所の密度が高く、千差万別のビールの中心地なのです。すべてのビールは昔からの伝統的な職人の技法で醸造されています。バンベルクの歴史は、昔からビールと相携えています。最初のビール居酒屋は1093年にあったと証明されています。

■ バンベルクのビール地方を歩いて、または自転車で散策。

バンベルク： 「ビール天国」の星



▼ バンベルクには本当のビール通が集まります。

何百年も古いビール文化

バンベルクの一番古いビール醸造は、司教オットー世がミハエルスベルクのベネディクト派の修道僧に醸造権利を与えた1122年です。ここには現在フランケン・ビール醸造博物館があります。それにバンベルクはかなり長い間自らのビール純粋令を所有し、それは現在も有効な1516年のバイエルン・ビール純粋令よりも、なんと27年も古いものでした。二つのビール純粋令は良いビールを作る原料のみ、つまり「水、麦芽、ホップ」だけを許可します。

1818年にバンベルクには65のビール醸造所がありましたが、人口が1万7千人だった頃のことに注目してください！世界中のビール愛飲家は、歴史的なビール醸造所の実に居心地のよいレストランや、典型的なビアケラーで、多くの上面発酵ビールや下面発酵ビールのいろいろな種類の特産ビールを味わうことができます。それに四季折々の特別なビール、夏はケラービア、秋からイースターにかけてボックビア、その他の特産ビールがビール愛飲家の心をときめかします。

伝統的なビアケラー

バンベルクでは高い丘の上にあるピアガーデンを、ビアケラー（ビール地下室）と呼んでいます。昔からビール醸造者は、丘のスロープの大きな横穴をビールの理想的な発酵・貯蔵設備として利用してきました。そのためここに貯蔵してあるビールを、その場で新鮮に味わうことができ、これがピアガーデンの発祥の地となりました。バンベルクのピアガーデンは上の方のビアケラーにあったので、たいていケラー（ビール地下室）へ登ると言います。

ユニークで多様なビール

さてもうバンベルク近郊地方です。砂岩層のスロープの少し高い所によくケラーがあり、飲み口の良いビールだけではなく、純粋な田園風景もお楽しみいただけます。ケラーでは地元の様々な典型的な軽食やフランケン名物料理の醍醐味が味わえます。

▼ www.bamberg.info/bier



BierSchmecker®Tour (ビール試飲ツアー) でビールを堪能

■ 情報たっぷりのビール・カード（ビール散策地図）が、バンベルクのビールの幅広い世界へお誘いします。人気のあるビール試飲ツアー（6人限定）で、ビール醸造所、ビール、ビールの歴史をその場で味わいながら体験できます。ビール醸造博物館では、参加者はバンベルクの興味深いビール醸造とその伝統を知ることができます。

€ 22.50

ビール・カードで黄金色の液体に

すべてのビール醸造所とビール・レストラン、素晴らしいビアケラー、ピアガーデンなど、バンベルクのビールの世界をビール・カードで探索してください。英語版もあります。

→ ビール・カード、ビール試飲ツアー、その他の情報、「黄金色の液体」のお土産物は、観光局でどうぞ。



バンベルクは響く！

▼ 様々な音楽を聞きながら最高の楽しみを体験



コンサートホール

12

■ コンサート・コングレスホール・バンベルクは、コンサートとサウンド体験と学会や会議のセンターです。ここでは、バンベルク交響楽団とショービジネスの巨匠達のふるさとです！

▼ www.konzerthalle-bamberg.de

バンベルクの魅力的な多彩な音楽の世界

■ バンベルクには世界的なオーケストラの他、幅広いさまざまな音楽の世界があります。バンベルクとバンベルク近郊では、多くのトップクラスのアンサンブル(たとえばバンベルク交響楽団の団員)が定着し、様々な音楽グループの多彩な優れたライブ・ミュージックがあります。例えば室内音楽の愛好者は、年々いろいろなコンサート・シリーズを満喫できます。それにコンサートは素晴らしい場所で行われるのです。新宮殿のバラ園やバロック城のゼーホーフなど、バンベルクとバンベルク近郊の素晴らしい歴史的建物においてです。これらの名所を訪ねることで、最高の楽しみがまた増えます。また大聖堂の丘

での優れたオープンエア・コンサートも、独特なイベントです。クラシック音楽や現代音楽にはもちろんのこと、それぞれの演奏の場があります。

ジャズ愛好者はバンベルクで大満足。例えば旧市街中心の風変わりな丸天井の地下室のジャズ・クラブ。毎年8月にはバンベルクがトップクラスのスターをグルーヴすると、何千人もの音楽ファンが、無料のジャズ&ブルース・フェスティバルを聞きに集まって来ます。

クレズマー(東欧ユダヤ系音楽)やギターのコンサートなどでも、第一級の音楽家が演奏します。また地方の新しいフォークミュージックもブームになっています。

▼ www.bamberg.info/musik-veranstaltungen



バンベルク交響楽団

最高の文化大使

■ いつかこの質問をしなければなりません。バンベルクが石のドイツ建築の歴史を持ちながら、このとても若い交響楽団がなかったとしたらどうでしょう？印象派の作曲家、クロード・ドビュッシーは答えます。「音楽は放縦で沸き溢れる芸術であり、野外のちょうど四元素の中の風、空、海にたとえられるでしょう。」もしバンベルク交響楽団がなかったならば、何か本質的なもの、息をつく空気のような根本的なものが不足してしまうでしょう。交響楽団は故郷の町に深く根付いて、他のオーケストラが夢にも見られないほどの支援を受けています。シーズンに6000人のコンサート入場券予約からして、バンベルク市民が「自分たちの」交響楽団と認めていることが分かります。バンベルク交響楽団は創立後70年しかたっていませんが、この地域の音楽界の中心的存在になりました。交響楽団はドイツでも旅行好きなオーケストラで、戦後始めて外国演奏旅行にでかけました。そうこうするうちに7000のコンサートを世界の60ヶ国の500の都市で演奏し、バイエルン州と全ドイツの文化大使になりました。

た。これは著名なヨゼフ・カイルベルトが首席指揮者に就任した1950年以来、バイエルン放送局の協力があったためです。シューベルトの全交響曲や、マーラー交響曲の受賞した多くのCD録音が、最近の際立ったクライマックスです。バンベルク交響楽団は、世界でも最高のマーラー作品のオーケストラと言われています。多数の賛歌や名高い賞を得た録音は、音楽の都バンベルクから離れていても、いつでも長く聞ける楽しみがあります。

www.bambersymphony.com

「私はヨーロッパのオーケストラの中のこの珠玉をまだ指揮することが出来なかった頃からすでに、このオーケストラを非常に感嘆しておりました。オーケストラの文化を、あらゆる意味で表現しているからです。バンベルク交響楽団は、音楽のどんなに小さい部分でも見事に演奏し、どのコンサートでも聞く人を魅了させます。」

ヤクブ・フルシャ、2016年9月より首席指揮者



芸術宝蔵品

▼ 中世から現代へ



DOMBERG

MUSEEN UM DEN BAMBERGER DOM



■ 千年も古い大聖堂からほんの少し離れた所に、非常に注目すべき博物館や文化施設があります。

バンベルク州立図書館は、世界記憶遺産に登録されたバンベルク黙示録のような希少な古文書などのデジタル画像や、豊富な所蔵品を展示する特別展にご案内します。司教区宝物館では、司教区創立者の皇帝ハインリッヒII世の星座のマントがあり、ハインリッヒ王冠の優れたレプリカ、大聖堂の昔の宝蔵品の一部がみられます。旧宮殿の歴史博物館では、町の発展に関する展示品のほか、印象深い絵画コレクションもあります。

新宮殿の州立ギャラリーには、ハンス・バルドゥング・グリーンのアの洪水などの有名な絵画が展示されています。新宮殿の華麗な部屋は今もお豪華で、領地司教の建立した宮殿の貴族的な雰囲気には輝いています。バンベルク大聖堂は、世界的に有名なバンベルク騎士像や、リーメンシュナイダーやファイト・シュトースの比類のない彫刻作品を収蔵しています。

▼ www.domberg-bamberg.de



モダンアート

■ 国際芸術家の館ヴィラ・コンコルディアは、毎年ドイツと外国からそれぞれ6人ずつ芸術・文学・音楽分野の芸術家を招待し、彼らの作品を水堀りに囲まれた素晴らしいバロック風城に展示し、年に約80回ある公けのイベントの中で紹介します。

旧市街の中ではモダンなオブジェが目につきます。大きな作品の一部は、世界的に有名な芸術家、ポテロ、プレンサ、ミトライ、ルギンビュール、リュペルツ、ヴォルテルカンプ、アヴラミディスなどの作品です。モダンアートは、歴史的な町の中で興味深い光景になっています。

モダンアートの愛好家は、その他の彫刻作品や展覧会に出会う多くの機会があります。非常に興味深い芸術の楽しみの一つは、バンベルク近郊のアクティブに計画された芸術の散歩道です。「川の顔」は何メートルもある砂岩彫刻で、オーバーマイン地域の川岸に沿った草地にあります。またバンベルクの東の「フランケンのトスカナ地方」では、種々の野外芸術作品を見るルートもあります。

▼ www.villa-concordia.de ▼ www.bamberg.info/kunst

博物館とコレクション

➤ ここでは、バンベルクとバンベルク郊外のいくつかの博物館を選んでご紹介します。すべての博物館は次のサイトでどうぞ：www.bamberg.info/museen/

鳥のホールのある自然博物館

■ バンベルク自然博物館の始まりは200年以上前で、この時期に有名な「鳥のホール」ができました。これは博物館の総合芸術で、いわば「博物館の中の博物館」ともいえ、世界中で同じようなものは二つとありません。

バンベルク新宮殿

■ 豪華な広間と素晴らしい内装で、新宮殿は領主司教の当時の生活を印象的にとどめています。州立ギャラリーには、一級の後期ゴシック風とバロック風絵画が収蔵されています。1604年にドーム広場の新宮殿の建築が始まり、1697年から1703年にかけて領主司教ローター・フランツ・フォン・シェーンボルンが、ヨハン・レオンハルト・ディーツェンホーファーに二つのバロック風翼棟を増築させました。最高峰は明らかに、メルヒオール・シュタイデルがフレスコを描いた贅沢な皇帝の間です。

ルートヴィヒ・コレクション

■ 旧市庁舎のルートヴィヒ・コレクションの中心は、シュトラースブルクのファイアンス焼きとマイセンの磁器です。ほとんどが雅やかな18世紀の生活と食器文化のバロック風の展示品です。この展示はバンベルクの市参事会の有名なロココ風広間に続いています。

レヴィ・シュトラウス博物館

■ 何度も国際的な栄誉を得たこの博物館は、バンベルク近くのブッテンハイムにあるレヴィ（リーバイ）・シュトラウスの生家で、その歴史を物語っています。アメリカに移住後、世界的に有名になった彼の製品、リーバイスのジーンズは不朽のものとなりました。博物館ショップには、ジーンズのファンやコレクターのための特別な製品が並んでいます。



少しのお金で沢山のバンベルク!

■ 英語の携帯情報端末(PDA)のガイド、重要な博物館入場、市内バスの自由自在利用、その他の特別サービスは、3日間有効のBAMBERGcardをどうぞ

€ 一人たった14.90ユーロ

BAMBERGcardに入場料込み
自然博物館の歴史的な鳥のホール

➤ www.bamberg.info/bambergcard



BAMBERGcardに
入場料込み
自然博物館の
歴史的な鳥のホール



グルメ大歓迎!

▶ 美味しいお料理を発見してください!



16

フランケンの名物料理

■ ショイフェルラ (豚の肩肉)、クローズ (ジャガイモ団子)、焼きソーセージなど、バンベルクとバンベルク近郊でもフランケンの地元特有の料理があります。多くのレストランのメニューには、この地方の健康で新鮮な季節替わりの料理が出ます。アスパラガス、マス、コイ、子羊、狩猟肉など、心をこめて美味しく料理した地元の名物料理を絶対に見逃さないでください。典型的なプロートツァイト (軽食) もお勧めです。軽食の盛り合わせとかケラー (ビアガーデン) の盛り合わせには、えり抜かれた地元素材の名物料理、ゲルプター (練り合わせカマンベールチーズ)、プレサック (プレスしたソーセージ)、ツヴェチュガーバーメス (牛肉ハム)、ツイベレスケース (練り合わせ凝乳) など、それぞれ好みの料理を誰でも見つけられるのは確実です。

バンベルクのワイン

■ 「バンベルク修道院庭のシルヴァーナー・カビネット」は、最近発売された優れたバンベルク産フランケンワインです。聖ミハエル修道院のスローブに栽培されたブドウの辛口白ワインは、昔はここでもワイン醸造があったという歴史的背景があるにもかかわらず、ビールの町のバンベルクでは珍しいことです。この典型的なフランケン特産のボックスボイテル・ピン入りのワインは、観光局でお求めになれます。



季節の名物料理

アスパラガス、コイその他

■ レーグニッツ川の谷にそった良い砂地では、この地方で約300年来アスパラガスが栽培されています。良質の太い白アスパラガスはここでは4月末から6月まで、グルメ料理の定番です。その他、キノコ料理、ゴボウ、西洋ワサビなど。バンベルク近郊はその他にも新鮮で美味しく料理された季節替わりの名物料理、コイ、マス、レーグニッツ川魚などの魚料理や狩猟肉料理など有名です。



菜園地区の優良品

バンベルガー・ヘルンラ・ジャガイモ

■ バンベルクの野菜売り場では、主にバンベルクの畑で育ち、当地の菜園で収穫された野菜を売っています。生産地が保証されていて、新鮮で良い品質とフェアな価格だけではなく、客の購入によって世界遺産のバンベルクの歴史的な菜園地区の保存も援助されます。有名な名物は古いジャガイモの種類「バンベルガー・ヘルンラ」です。ジャガイモ通にはこのホクホクした素晴らしい味が好まれています。名物ジャガイモは今更ハイバルをよんでいます。この古い種類のジャガイモは地理表示に名前が登録され、この名前の産物はここでだけ栽培され、収穫されなければなりません。



フランケンのパンとソーセージ

■ パン屋と肉屋は当地では誇りと技能をもつ、本物の職人です。自家製レシピの独特な特別製品は、何百年もこの地方に引き継がれています。バンベルクのパンやソーセージ製品が、ベルリンやミュンヘンのグルメ食品店にも並んでいることは不思議ではありません。

さらに有名なのは長い伝統のあるお菓子のゼーレンシュピッツェン（網目のついた長い菓子）、バンベルガー・ヘルンラ（クロワッサンの一種）とか、アニスとキャラウェイの素晴らしい香りのする黒パンなどです。教会祭りのアトラクションには、手間ひまかけて特別に焼かれるフートクラブェン（平たい揚げ菓子）があります。

更に人気のあるバンベルクの焼きソーセージ、プレスザック（プレスしたソーセージ）の煮た物やゆでた物とか、普通ソーセージの盛り合わせ、名物の牛肉のツヴェチゲンパーメス（牛肉ハム）のようなスパイスのきいたものから良質のハムなどが、典型的な美食の名物料理です。



ビールの醍醐味

■ バンベルクのビール文化は、おそらく二つとない伝説的な名声があります。特に沢山のビール醸造所と、非常に多くの特産ビールがあることです。ビールを飲む楽しみや習慣は、極度の伝統意識にもかかわらず、現在は全く異色の味のビールを飲むトレンドもあります。温暖な夏の夕べに、ビアケラーで新鮮なケラービールとこってりとした軽食の他に、伝統と人生の喜びと醍醐味をどこで楽しめるでしょう？また涼しい時期には風変わりなビール醸造所のレストランで、美味しいビールやフランケンの名物料理を味わい、地元の人々と団らんすることは実に楽しいことです。

 www.bamberg.info/biergenuss



城と宮殿

いにしへの石造建築

18

アルテンブルク

■ 7つの丘のあるバンベルクの地形からみると、いくつかの名所をまず知らなければなりません。バンベルクの7つの丘の一番高い場所に位置する、バンベルクのシンボルともいえるアルテンブルクがその一つです。城からの一望の他、ロマンチックなレストランとビアガーデンは、とにかく訪ねる価値があります。城は1109年に始めて文書に記載されましたが、1553年にほとんど破壊されるまで、14世紀と15世紀にはバンベルク司教の居城でした。ロマン派の時代にアルテンブルクは再建されましたが、中世の建築部分としては33mの天守閣と城壁の一部だけが残っています。

バンベルク新宮殿



■ 豪華な広間と素晴らしい内装で、新宮殿は領主司教の当時の生活を印象的にとどめています。州立ギャラリーには、一級の後期ゴシック風とバロック風絵画が収蔵されています。1604年にドーム広場の新宮殿の建築が始まり、1697年から1703年にかけて領主司教ローター・フランツ・フォン・シェーンボルンが、ヨハン・レオンハルト・ディーツェンホーファーに二つのバロック風翼棟を増築させました。最高峰は明らかに、メルヒオール・シュタイデルがフレスコを描いた贅沢な皇帝の間です。

www.schloesser.bayern.de/english/palace

ゼーホーフ城

■ 小旅行として人気ある目的地は、バンベルクの町から2kmも離れていない、メルスドルフのゼーホーフ城です。1686年にバンベルクの領主司教が、アントニオ・ペトリニの設計で建築させました。昔のロココ風庭の豪華さは、修復されたカスケード(段状の滝)の噴水や保存の良いフェルディナント・ティーツの砂岩彫刻などに見られます。

www.schloesser.bayern.de/english/palace





グライフェンシュタイン城

■ ハイリゲンシュタットのグライフェンシュタイン城は、16世紀初めの農民戦争の時に破壊され、その後再築された城塞にまで歴史がさかのぼります。領主司教マルクヴァルト・セバ스티アン・シェンク・フォン・シュタオフエンベルクが、1691年から1693年にかけてグライフェンシュタイン城を徹底的に修復し、バロック城に変えました。

👉 www.schloss-greifenstein.de



ギーヒブルクとギューゲル

■ バンベルクとバイロイトの間のシェスリッツの丘に、歴史的建造物が二つあります。ギーヒブルク城とギューゲル・チャペルです。1125年に始めて文書に名前が出ましたが、その後何度も火災にあっては又修復された建物です。レストランのあるギーヒブルク城は小旅行の人気ある目的地で、バンベルク地方の素晴らしい景色が一望できます。



ヴァイセンシュタイン城

■ ポンメルスフェルデンのヴァイセンシュタイン城は、ドイツの大きなバロック風建造物に属します。バンベルクの領主司教ローター・フランツ・フォン・シェンボルンは、当時の最も有名な建築家に、ヨーロッパでも意味のある壮大な建造物を造らせました。見所は豪華に装備された3階までつづく吹き抜けです。この堂々たる建物は、稀に見る調和と美しく仕上げられました。また城の庭園が散歩したい気分をそそります。膨大なギャラリーでは、美術史上重要なフランス・イタリア・ドイツ・オランダの画家達、その中でもブリューゲル、ファン・ダイク、ルーベンスなどの作品が見られます。

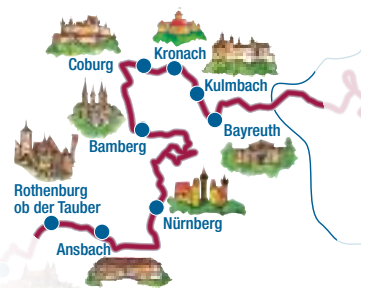
👉 www.schloss-weissenstein.de

🇩🇪 ドイツ語の城ガイドは一人7ユーロ。
国外のお客様には多国語の案内
パンフレットあり

die burgenstraße

古城街道は、マンハイムから一見に値する旅行目的地ハイデルベルク、ローテンブルク、ニュルンベルクなどを通して、フランケン地方のスイスに続くルートの前にバンベルクに達してコーブルクに至ります。この人気の観光街道は真珠のネックレスのようにつながり、過去への旅に誘います！

👉 www.burgenstrasse.de



Schwäbisch Hall



楽しみ、スポーツ、 自然

▶ 世界遺産とバンベルク地域でアクティブな休暇



20

バンベルク近郊では多くの自然体験やアクティブ・レジャーが楽しめます。ここではインフラ・ストラクチャーが完璧に装備され、アマチュアのスポーツマンでも、野心的なプロにとっても、一部はセンセーショナルなアクティブ・プログラムもあります。アクション、スリル、魅力的な自然体験、これ以上なにをあなたはご希望ですか？

バンベルク地域でサイクリング

■ 自転車をお持ちですか？問題ありません。多くのレンタル自転車ステーションが現地にあります。バンベルク地方には長距離サイクリング、テーマのツアー、易しいコースから楽しめるサイクリングなど、多くのコースがあります。サイクリングの難易度は、谷川沿いの易しいコースから、難しいコースまであります。マウンテンバイカーの楽しみ

は、バンベルクの東のハイリゲンシュタットの近くに、マウンテンバイクの専門コースが定着したことです。

▶ www.bamberg.info/radfahren



徒歩で観光

■ 世界遺産都市を周遊

バンベルクの田園風景を、徒歩で探索する多数のルートがあります。例えば約5km長い「創造のルート」は、ミヒャエルスベルクの森の中に続いています。川沿いの小道は流れに沿うバリアフリーの道で、町の生活に水がいかに重要であったか理解できます。その他いろいろなテーマの小道があり、菜園地区一周ルートのような英語版案内も、観光局にあります。



■ バンベルク近郊のハイキング

自然や城や教会のツアー、ワインとビール、つまり家族ぐるみで楽しめるハイキングルートがここにあります。バンベルク地域には純粋な自然と多くの文化があります。その上多くのテーマ毎のハイキングルートが誘います。例えば13のビール醸造所ルートは、1日32kmの長さで、素晴らしい風景の中の13のビール醸造所にご案内します。また木組みの家のルートでは、この地域では典型的な、絵のように美しい多くの木組みの家のある田園的農村にたどり着きます。バンベルクからは特に人気のあるバンベルク郊外行き of いろいろな専用バスが出ています。また人気のあるバンベルク地域への遠方ハイキングルートは、ここからスタートしてここで終わります。

➡ www.bamberg.info/wandern

水のスポーツ

■ バンベルク近郊はまさに水のスポーツの天国です！レーグニッツ川、マイン川、地域のその他の小さな川では、いろいろな水の流れにあったスポーツをお勧めします。溪流のカヤック、ゆったりしたカヌーツアー、ゴンドラ、古典的な遊覧船などがあります。

➡ www.bamberg.info/wasser



クライミング楽園

■ フランケン地方のスイスは、世界中で一番よく整備されたクライミング地域で、バンベルクの訪問者の足元にあります。6500ものコースでは、多くの穴ロック、張り出しロック、塔や塊のロックで、クライミング・フリークたちがクライミングの情熱を十分に発散できます。アクション・ジレクト・コースは、長い間世界で一番難しいフリークライミング・コースとされていました。プロでない人はヴァイルブロン・クライミング森の障害コースで、ちょっと変わった家族ぐるみのアクティブ体験が楽しめます。

➡ www.bamberg.info/klettern

世界文化遺産都市 の魅惑的な冬

▶ 一年で最高に素晴らしい時期を満喫してください!

■ バンベルクは大きな旧市街全体と優れた名所旧跡があり、ドイツでも人気のある旅行地です。どの町にもないような冬とクリスマスの体験は、毎年訪問者を魅了しています!バンベルクへのお客様は、世界中で有名なドイツの本当に生き生きとしたクリスマスの魅力を、体験することができるのです。

22

クリッペの町

■ アドベントとクリスマスの旅行として、大人にも子供にもっとおきの出会いになる、ユニークで非常に古いクリッペ(キリスト生誕の人形飾り)の伝統がバンベルクにあります。これは特に、バンベルク地域でクリスマスを待つ楽しみを、喜びながら生き生きと表現しています。11月末から1月6日まで世界文化遺産都市は、多様な40の「ステップ」の真のクリッペの町に変わります。教会や多くの博物館、公共の広場や、その他の建物に、大小の石・木・プラスチック・紙その他の材料を使った、歴史的またモダンなクリッペが展示され、毎年新しい展示がみられます。それに教会のクリッペの装飾は、この期間中何度も入れ替わります。注目に値するクリッペ博物館は、毎年見応えのある特別展でクリッ

ペの多様性を更に充実させます。町の中の多くのクリッペの他、バンベルク近郊で見る価値のある「クリッペ風景」があります。例えばシュルツェルフェルトやハイリゲンシュタットでは、クリッペ・ルートが二つあり、ヒルシャイトの古い学校博物館はクリッペ博物館に変わります。

▶ www.bamberg.info/krippen





クリスマスの町

■ クリスマスの時期には、バロック風建物の正面は厳かにイルミネーションされた姿に変わり、喫茶店やレストランは、グルメの名物料理を盛大に祝います。それから多くのクリスマス・コンサートとか、魅力的な演劇などの趣のあるイベントがあります。様々な多くのアドベント市やクリスマス市で、バンベルクではクリストキント（贈り物をもってくる天使）を待つ日々が短くなります。歩行者天国のまっただ中にあるマックス広場の伝統的なクリスマス市が一番大きな市で、11月末から12月23日まで続きます。ムードあふれる雰囲気の中の店でも、ファンシーでおしゃれなクリスマス・プレゼントが買えるでしょう。アドベントとクリスマスの時期にある名物の美味しいレーブクーヘン（ショウガ入りお菓子）やフランケンのグリュウワイン（香辛料入りホットワイン）は、世界的に有名です。この二つを賞味したら、「クリスマスの味」が直ぐにわかります！そのほかの味覚はシュペクラツィウス（香辛料入りクッキー）、バニラ・ヘルンラ（

バニラ入り細長いクッキー）、アニス・プレッツヒェン（アニス入りクッキー）がこの時期にお薦めですが、バンベルクの醸造所のフェストビール（祝日ビール）も欠かせません。地元の人々が、このような美味しいものがある一年中で一番素晴らしい時期を、どんなに心待ちしているかわかります。

更にバンベルク近郊ではまだ沢山の小さな素晴らしい市があり、フレンスドルフのロマンチックなアドベント市がその一例です。

👉 www.bamberg.info/weihnachten



冬は特別な旅行シーズン

■ 世界文化遺産都市バンベルクは、海外からの多くの旅行者に人気のある旅行目的地です。「フランケンのローマ」の多種多様性を探索するお客様が、一年中訪れます。

ヒント：静かな冬季に、自分なりの世界文化遺産都市を体験してください。この時期にこそ、千年も続くユニークな町の風景を、ゆとりをもったどかに、そしてロマンチックな雰囲気を満喫できるのです。



夢のような値段の夢の町
冬季の魅力的なお値段！

世界文化遺産都市の魅力を知って味わう、シーズンオフのお値段！

- 2泊朝食付き
- **BAMBERG**card

66ユーロから

バンベルクを訪問する 多くの理由…

👉 世界文化遺産都市の魅力体験!

■ バンベルクの世界文化遺産都市は限りない多種多様性があり、芸術・文化・美食の「典型的な旅行のモチーフ」のほか、その他に様々なお薦めがあります。とにかくこの並外れた町をたずねてみたいくなるような、特別体験や魅力的なパッキングツアーをいくつか選びました。皆様の旅心が遅かれ早かれバンベルクに向けられ、皆様のお手伝いできれば幸いです。

24

祭り、フェスティバル、その他の のハイライト

毎年多くの人を新たにバンベルクへお誘いする、いくつかの催しのクライマックスを満喫ください。

- バンベルク交響楽団のコンサート
- 夏の教会祭り
- 国際魔法フェスティバル
- バンベルク芸術・骨董品週間
- ジャズ&ブルース・フェスティバル
- クリスマスとクリッペの町

イベントと日程:

👉 www.kultur.bamberg.de

👉 www.bamberg.info/veranstaltungen



バンベルクを発見!

バンベルクは千年以上前に出来上がった総合的芸術作品と言える町です。込み入った路地、ロマンチックな広場、ユニークな名所、芸術、文化、バンベルク名物を体験・満喫してください。ドイツの美しい町のひとつバンベルクで、何日かエンジョイしてください。



- 2泊朝食付き
- 市内観光「魅力的な世界文化遺産」
- 博物館入場料
 - 司教区宝物館
 - 自然博物館
- 新宮殿のガイドツアー
- フランケン焼きソーセージとバンベルクのビール1杯 (ザイドラ=0.5リットル)
- バンベルク名物のチョコレート詰め合わせ
- バンベルク・バッグ



86ユーロから



皆様のバンベルク旅行では、 現地の私達がパートナー!

バンベルク・ Tourismus・ Kongress・ サービスはバンベルク市の公式観光局です。旅行者の皆様のご要望、ホテル・市内観光・体験イベント・チケットなどをお世話します。世界文化遺産都市の中心にある観光局は、1年360日間皆様を歓迎します。ショップにはより抜きのお土産、ローカル色の濃い名物などが盛り沢山揃っています。

観光局のオープン時間

月曜-金曜日: 9時30分-18時

土曜日: 9時30分-16時、日曜・祭日: 9時30分-14時30分

イースター火曜日、12月24日、12月31日: 9時30分-12時30分

休日: イースター金曜日、諸聖人日(11月1日)、12月24/25日、1月1日

観光局は市の中心にあります。

Geyerswoerthstrasse 5 • 96047 Bamberg

 www.bamberg.info





体験旅行のお薦め

1+

バンベルクの名物料理

「衣食たりて礼節を知る」の座右銘の通り、バンベルクの名物料理やローカルな美食を自由に選んでください。バンベルクの料理が実に美味しいと気づかれるでしょう。


-  2泊朝食付き
- BAMBERGcard**
- フランケンの3コース・メニュー: フランケン・レバースープ、4分の1の焼いた鴨にちりめんキャベツのクリーム煮、ジャガイモ団子つき、揚げたリンゴにバニラアイスつき、ドリンクつき
- 典型的なバンベルクの名物に馴染むクーポン(500ml シュレンケルラ・薫製ビール、「バンベルク・ヘルンラ(クワッサン)」、レバーケースを挟んだパン、6つのチョコレートと4clのフランケン・ローゼンフォート・リキュール入り「エキスと味わいの小箱」)


 113ユーロから

10+

ビール醸造所巡礼

バンベルクとバンベルク地域では、ビールは独特な飲み物です。「ザイドラ」(500リットルのビール・ジョッキ)で話が進み、ただ人生を楽しみます。このミニグループツアーでは選り抜かれた種々のビールを試飲し、醸造所「巡り」の間、ビール醸造マイスターの話に耳を傾けます。


-  2泊朝食付き
- BAMBERGcard**
- 「バンベルクと液体パン」のガイドツアー
- ビール醸造マイスターの説明つき薫製ビール試飲メニュー
- ビール醸造所レストランとビール軽食とビール試食つき「ビール醸造所巡礼」
- 夕方の軽食: 「ブラウエ・ツィッペル」(酢で煮たソーセージ)、パンと0.5リットルのバンベルクのビール
- フランケン・ビール博物館のチケット(4月から10月まで)
- パンフレット「バンベルクのビールの世界」

 153ユーロから(10人以上から予約可)

ベットとカード

「フランケンのローマ」のコンパクトでお手頃な市の観光。ホテルとBAMBERGcardが基本のサービスです。皆様それぞれのバンベルク滞在をプランしてください。次ページの個々名所から見つけられることは確実です。

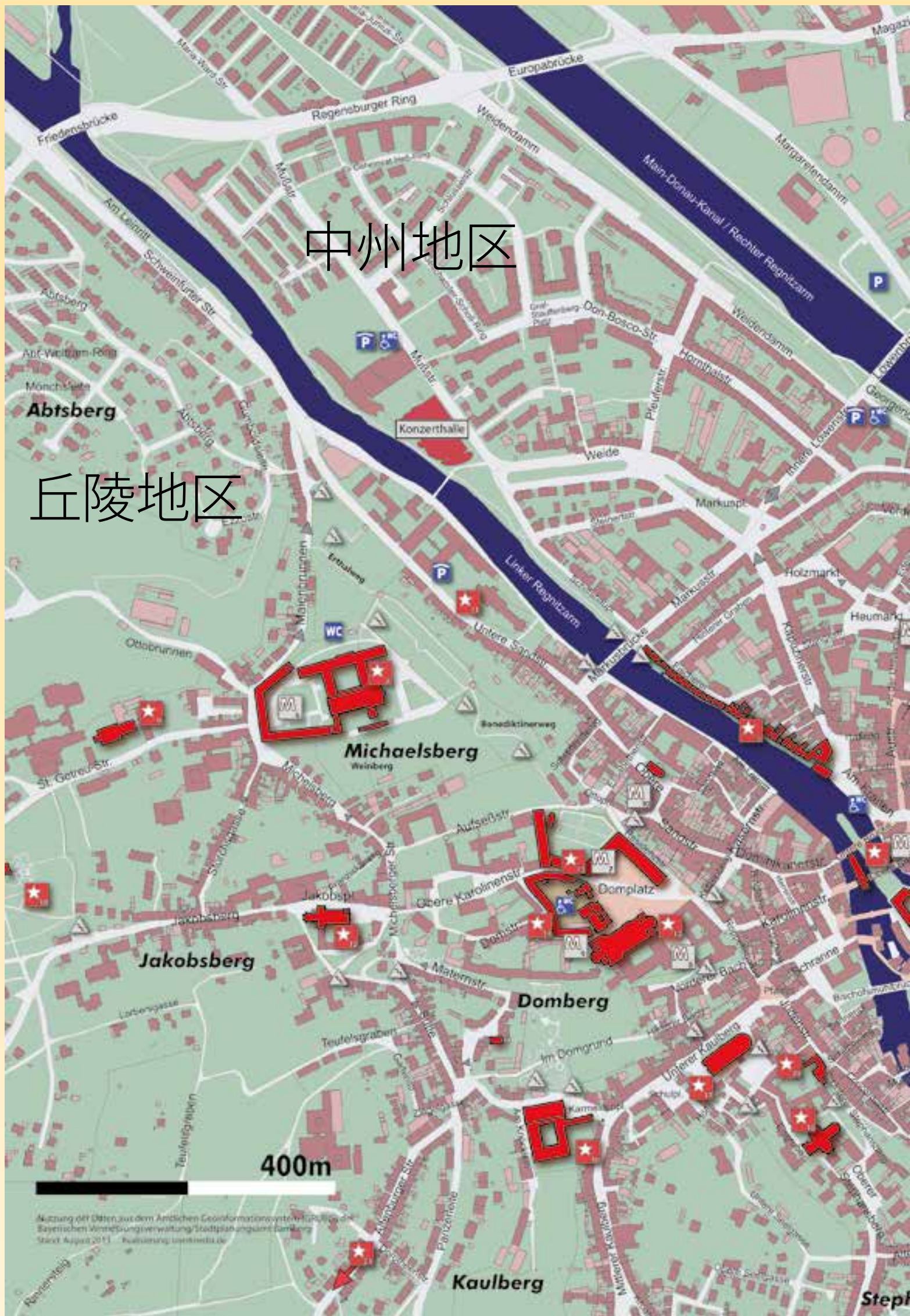
-  2泊朝食付き
- BAMBERGcard**

 70ユーロより

 www.bamberg.info/paketreisen

中州地区

丘陵地区



Nutzung der Daten aus dem Amtlichen Geoinformationssystem (AGIS) der Bayerischen Vermessungsverwaltung/ Stadtplanungsm. dankend.
Stand: August 2011. - Koordination: ism@isb.de

菜園地区



地図の説明

- ★₁ 聖ガンゴルフ教会
- ★₂ 聖オットー教会
- ★₃ 旧市庁舎(橋の上の建物)
- ★₄ ガイエルスヴェルト城市庁舎
- ★₅ 小さなベニス
- ★₆ マクシミリアン広場
- ★₇ 聖マルティン教会
- ★₈ 聖ミハエル修道院と修道院庭
- ★₉ 聖ゲトロイ教会
- ★₁₀ ヴィラ・レマイス
- ★₁₁ 市の公文書室
- ★₁₂ 聖ヤコブ教会
- ★₁₃ 大聖堂(皇帝寄進の教会)
- ★₁₄ 旧宮殿
- ★₁₅ 新宮殿と州立ギャラリー
- ★₁₆ カルメル派修道院
- ★₁₇ オーベレ・パレ教会
- ★₁₈ 聖シュテファン教会
- ★₁₉ ベッティンガー・ハウス(バロック風館)
- ★₂₀ ヴィラ・コンコルディア(国際芸術家の館)
- ★₂₁ アルテンブルク城
- ★₂₂ 水門100
- 🏠₁ 野菜作りとブドウ畑農耕者博物館
- 🏠₂ 自然博物館(鳥のホール)
- 🏠₃ ルートヴィヒ・コレクション
- 🏠₄ ヴィラ・デッサウアー
- 🏠₅ E・T・A・ホフマンハウス
- 🏠₆ フランケン・ビール醸造博物館
- 🏠₇ 新宮殿と州立ギャラリー
- 🏠₈ 司教区宝物館
- 🏠₉ 歴史博物館(旧宮殿内)
- 🏠₁₀ クリップ博物館
- 📍 観光局
- ZOB 近郊交通バス・ステーション

刊記

発行 BAMBERG Tourismus & Kongress Service

アイデア・構想・テキスト・コンサルタント・編集 Fly-out Werbeagentur – www.fly-out.de

写真 Archiv BAMBERG Tourismus & Kongress Service, FrankenTourismus/Bamberg/Hub, FrankenTourismus/Landkreis Bamberg/Hub, B. Oelsner, Staatsarchiv Bamberg, A 91 Lade 449 Nr. 775, Staatsbibliothek Bamberg, Fotostudio Krebs: S. Krebs, E. Weiß, R. Feldrapp, Pressestelle Stadt Bamberg, A. Rüttger, M. Vaskovics, P. Eberts, J. Schraudner, Museen der Stadt Bamberg, Holger Leue, Michael Trippel, Andreas Herzau, Bürgerspitalsstiftung Stadt Bamberg, Landratsamt Bamberg, Bayerische Schlösserverwaltung, Schloss Weissenstein, Stadt Bamberg, Bayerische Staatsbibliothek: Regierungsblatt für die Churfürstlichbayerischen Fürstenthümer in Franken (Bd.: 1.1803, Würzburg 1803, Bavar. 4850 y-1, urn:nbn:de:bvb:12-bsb10387151-4)

印刷 Druckerei Louis Hofmann

翻訳 Keiko Zeilinger

著作権:すべての著作権はバンベルク観光局

交通の便

車で

バンベルクは多数のアウトバーンや国道に便利に連結しています。

鉄道で

バンベルクは重要な鉄道の結節点で、例えばベルリンーミュンヘン区間でICEやICの停車駅です。ニュルンベルクやヴュルツブルクにも良い連絡があります。

飛行機で

一番近い飛行場はニュルンベルク(バンベルクから約50km)です。国際空港のミュンヘンとフランクフルトは約250km離れていますが、公共交通手段で問題なく移動できます。

